

横浜市記者発表資料

令和3年4月23日
教育委員会事務局
西部学校教育事務所
東部学校教育事務所

市立小学校における卒業生台帳の誤廃棄について

令和3年3月31日に、市立小学校2校において、卒業生台帳の誤廃棄が判明しました。

1 誤廃棄の内容 合計 2校 4,993人分

学校名	判明日	誤廃棄された卒業生台帳の内訳及び経過
南本宿小学校 (旭区)	3月31日	○誤廃棄された卒業生台帳（年度及び人数） 昭和52年（1977年）度から平成27年（2015年）度まで 2,378人分 ○経過 教諭が卒業生台帳の記載内容の訂正を行おうとしたところ、一部がないことに気付いた。調べたところ「平成30年度実施の書庫整理の際、卒業生台帳を廃棄文書として分別したこと」「分別した文書をシュレッダー処理したこと」がわかった。卒業生台帳の保存年限を正しく理解していなかったため、誤って廃棄したものと考えられる。 なお、この件に関する個人情報流失等の被害報告はありません。
永田台小学校 (南区)	3月31日	○誤廃棄された卒業生台帳（年度及び人数） 昭和49年（1974年）度から平成4年（1992年）度まで 2,045人分 平成17年（2005年）度から平成24年（2012年）度まで 570人分 計 2,615人分 ○経過 教諭4名が耐火書庫の整理を行った際、卒業生台帳の保存年限を正しく理解していなかったため、誤ってシュレッダーにかけた。

【卒業生台帳】：卒業証書番号、卒業した児童の氏名、生年月日、卒業当時の住所、保護者氏名、卒業年月日が記載された簿冊。卒業した児童が確認できる書類で、卒業証明書の発行等に用います。

2 誤廃棄となった主な要因

- （1）文書の保存年限に関する正しい理解と周知が足りていませんでした。
- （2）文書廃棄の正しい手順について、理解と周知が足りていませんでした。

3 今後の対応

- （1）証明書等の発行に対応できるよう、学籍に関する記録等を用いて「卒業生記録一覧」を作成します。
- （2）文書廃棄において起こりやすいミスの内容と要因を他の市立学校と共有し、再発防止に向けて、組織的な取組の再徹底を図ります。
- （3）毎年度の実施する文書廃棄が適正に行われるよう、書類の保存年限や文書廃棄の正しい手順について、研修を実施し、周知徹底を行います。

お問合せ先

- | | | |
|--|-------|------------------|
| ●南本宿小学校の卒業生台帳誤廃棄について
西部学校教育事務所 指導主事室長 | 増田 伸子 | Tel 045-336-3743 |
| ●永田台小学校の卒業生台帳誤廃棄について
東部学校教育事務所 指導主事室長 | 工藤 祐嗣 | Tel 045-411-0607 |